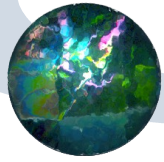
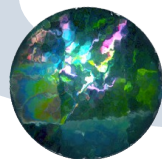


最短経路問題



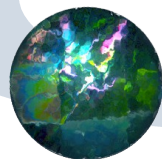
最短経路問題とは

- 有向ネットワーク
 - 各弧に距離(実数)が定義されている
- 始点から終点までの最短有向道を見つける



ポテンシャル $p:V \rightarrow R$

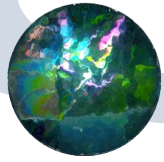
- 一般には、各頂点に定義された実数値
- 始点からの「高さ」(距離)をイメージする
- 経路のよらずに定まるはず



関数 $l_p : A \rightarrow R$ を定義 $a \in A$

- $l(a)$: 弧 a の長さ
- $p(\partial^\pm a)$: 弧の始点(終点)のポテンシャル

$$l_p(a) = l(a) + p(\partial^+ a) - p(\partial^- a)$$



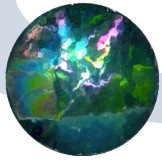
有向道にそって拡張

- u から v へ向かう有向道 P に対して以下が成り立つ

$$l_p(P) = l(P) + p(u) - p(v)$$

$$l_p(P) \equiv \sum_{i=1}^k l_p(a_i)$$

$$l(P) \equiv \sum_{i=1}^k l(a_i)$$

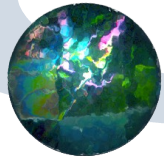


- 有向道 $P = \{u = v_0, a_1, v_1, a_2, \dots, a_k, v_k = v\}$ とする

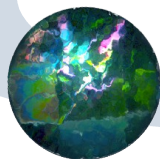
$$l_p(P) = \sum_{i=1}^k l_p(a_i) = \sum_{i=1}^k \left[l(a_i) + p(v_{i-1}) - p(v_i) \right]$$

$$= \sum_{i=1}^k l(a_i) + p(u) - p(v)$$

$$= l(P) + p(u) - p(v)$$



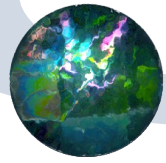
- 関数 $l_p: A \rightarrow R$ が非負関数であり、 P 上の各弧 a に対して $l_p(a) = 0$ とき
- P は u から v への最短経路



- なぜなら

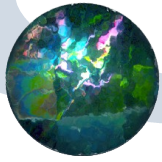
$$l(P) = p(v) - p(u) + l_p(P) \geq p(v) - p(u)$$

- このようなポテンシャルを見付けることが問題となる

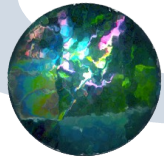


ダイクストラ(Dijkstra)法

- $l(a) \geq 0$ の場合を考える
- グラフ G は単純(並列弧が無い)



- $U \subseteq V$: 始点 v_0 からの有向道が見つかったているが、距離の確定していない点の集合
- $W \subseteq V$: 始点 v_0 からの有向道が見つかり、距離が確定した点の集合
- $p(v) \in \mathbb{R}$: 始点 v_0 から v への距離
- $q(v) \in V$: 最短路を逆にたどった時の、 v の前の点



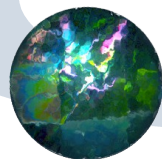
Dijkstra法：初期化

$$U = \{v_0\}$$

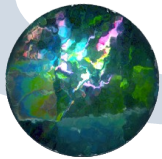
$$W = \emptyset$$

$$p(v_0) = 0$$

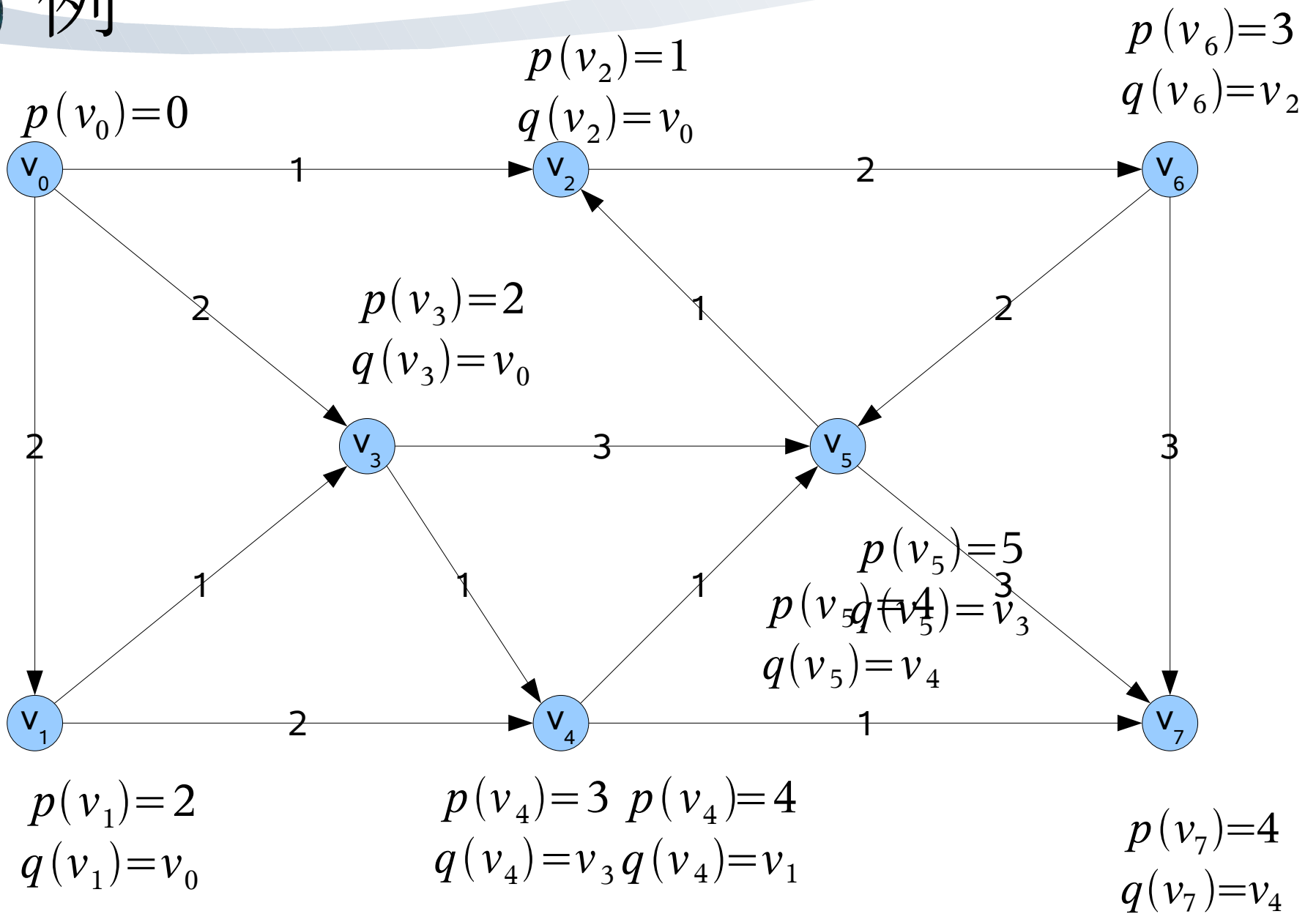
$$p(u) = +\infty (u \in V \setminus \{v_0\})$$

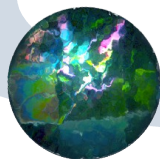


```
while(  $U \neq \emptyset$  ){
     $p(w)$  が最小となる  $w \in U$  を見つける
    forall (  $a \in \delta^+ w$  ){
         $x = \delta^- a$ 
        if (  $x \notin W$  ){
            if(  $p(x) > p(w) + l(a)$  ){
                 $q(x) \leftarrow w$ 
                 $p(x) \leftarrow p(w) + l(a)$ 
                 $U \leftarrow U \cup \{x\}$ 
            }
        }
    }
     $W \leftarrow W \cup \{w\}$ 
     $U \leftarrow U \setminus \{w\}$ 
}
```

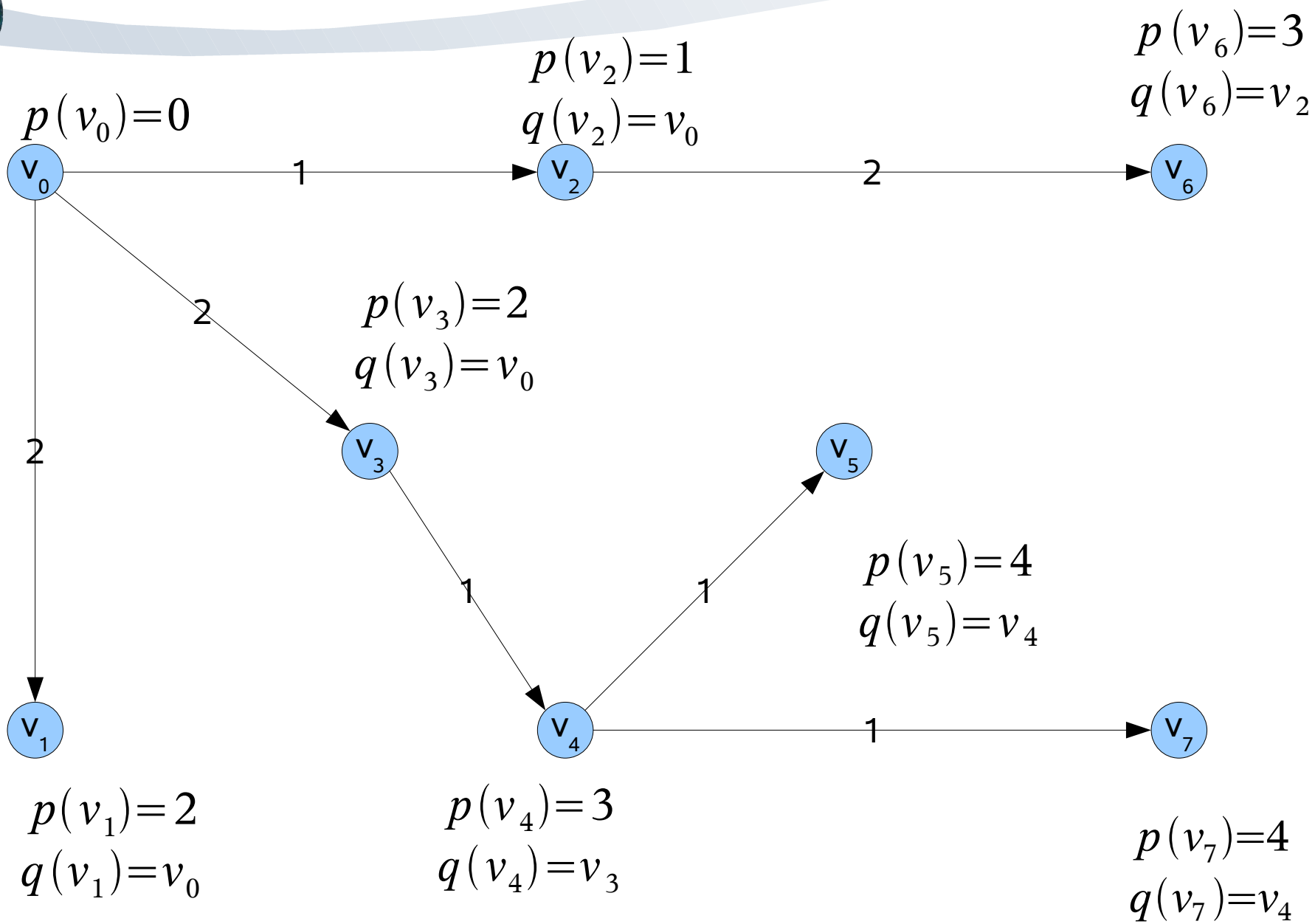
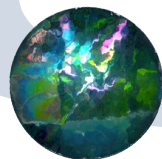


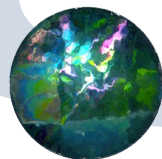
例





手順	注目している頂点	W	U	p	q	更新を受けた手順
0		\emptyset	$\{v_0\}$	$p(v_0)=0$		
1	v_0	$\{v_0\}$	$\{v_1, v_2, v_3\}$	$p(v_1)=2$	$q(v_1)=v_0$	
				$p(v_2)=1$	$q(v_2)=v_0$	
				$p(v_3)=2$	$q(v_3)=v_0$	
2	v_2	$\{v_0, v_2\}$	$\{v_1, v_3, v_6\}$	$p(v_6)=3$	$q(v_6)=v_2$	
3	v_1	$\{v_0, v_1, v_2\}$	$\{v_3, v_4, v_6\}$	$p(v_4)=4$	$q(v_4)=v_1$	4
4	v_3	$\{v_0, v_1, v_2, v_3\}$	$\{v_4, v_5, v_6\}$	$p(v_4)=3$	$q(v_4)=v_3$	
				$p(v_5)=5$	$q(v_5)=v_3$	5
5	v_4	$\{v_0, v_1, v_2, v_3, v_4\}$	$\{v_5, v_6, v_7\}$	$p(v_5)=4$	$q(v_5)=v_4$	
				$p(v_7)=4$	$q(v_7)=v_4$	
6	v_6	$\{v_0, v_1, v_2, v_3, v_4, v_6\}$	$\{v_5, v_7\}$			
7	v_7	$\{v_0, v_1, v_2, v_3, v_4, v_6, v_7\}$	$\{v_5\}$			
8	v_5	$\{v_0, v_1, v_2, v_3, v_4, v_5, v_6, v_7\}$	\emptyset			



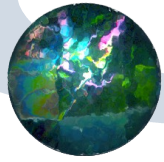


Dijkstra法の妥当性：補題1

- Dijkstra法の実行に伴って点が v_0, v_1, v_2, \dots の順で W に登録されるとする。
- このとき以下が成り立つ。

$$0 \leq p(v_0) \leq p(v_1) \leq \dots \leq p(v_i) \leq p(v_{i+1}) \leq \dots$$

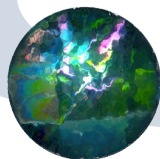
- 始点からの距離の小さい順に W に登録される。



補題1証明

- Dijkstra法実行中に以下が成り立つ

$$\max \{ p(u) \mid u \in W \} \leq \min \{ p(u) \mid u \in V \setminus W \}$$



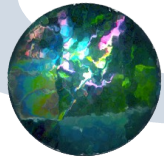
補題1証明

- 一回目のwhileループ実行後：自明
 - $W = \{v_0\}, p(v_0) = 0$
- あるステップで上記関係が成り立つと仮定
 - 次に選ばれる $w \in U \subseteq V \setminus W$ (p を更新する前)

$$\max \{ p(u) \mid u \in W \} \leq p(w) \leq \min \{ p(u) \mid u \in V \setminus (W \cup \{w\}) \}$$

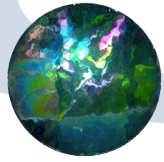
- 更新後

$$\max \{ p(u) \mid u \in W \} \leq \min \{ p(u) \mid u \in V \setminus W \}$$



Dijkstra法の妥当性：補題2

- W に始点を持つ G の枝の集合 δ^+W
 - $G_W = (W \cup U, \delta^+W)$ 上で
 - $l_p(a) \geq 0$ ($a \in \delta^+W$)
 - $l_p(q(u), u) = 0$ ($u \in (W \cup U) \setminus \{v_0\}$)
 - 全ての $u \in (W \cup U) \setminus \{v_0\}$ に対して定まる枝 $(q(u), u)$ は v_0 を根とする有向木である。



補題2証明

- Dijkstra法から明らか

- $a \in \delta^+ W$ に対して

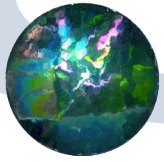
$$p(\partial^- a) \leq p(\partial^+ a) + l(a)$$

$$\rightarrow l_p(a) = l(a) + p(\partial^+ a) - p(\partial^- a) \geq 0$$

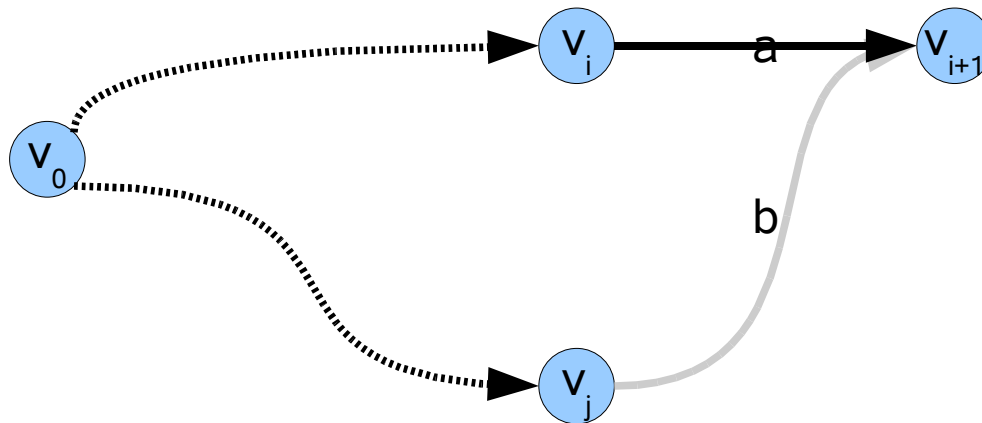
- $u \in U$ に対して

$$p(u) = p(q(u)) + l(q(u), u)$$

$$\rightarrow l_p(q(u), u) = l(q(u), u) + p(q(u)) - p(u) = 0$$

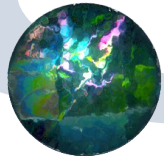


補題2証明



$$l_p(a) = l(a) + p(v_i) - p(v_{i+1}) = 0$$

$$l_p(b) = l(b) + p(v_j) - p(v_{i+1}) \geq 0$$



補題2証明

- 補題1より、 W の要素は順序付けられている
 - $q(v_i) = v_j$ とすると $j < i$ である。